

「ピンチをチャンスに！」

平成二十二年商工会合同新年会を開催

平成二十二年商工会合同新年会（沖縄県商工会連合会主催）が七日、ラグナガーデンホテル羽衣の間で開催された。会場には仲井眞弘多沖縄県知事をはじめ、仲里、安里両副知事など、多くの来賓や商工会関係者約三五〇名が訪れた。開催に際して上原義雄沖縄県

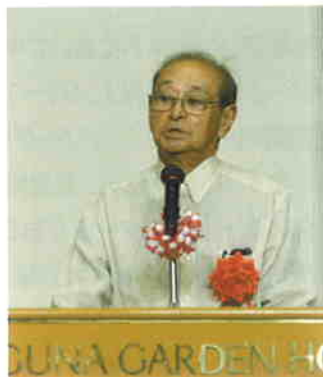


平成22年の抱負を述べる
上原義雄沖縄県商工会連合会会長

商工会連合会会長は、昨年の観光関連の不振や個人消費の低迷など県内景況に触れ、業況回復のため、県内全商工会に「中小零細緊急金融特別相談室」の設置、「金融」・「経営革新」等の会員への周知・活用のサービス等の支援を述べた。

更に上原会長は、デフレ経済で中小・

小規模事業者の業況が低迷する中「ピンチをチャンスに」と捉え、昨年六月与那国でのトップセミナー（会長研修）「二万人会員の達成に向けての加入促進運動」、マル経資金の前年度以上の融資回転件数の達成「商工会アピールプラン」の策定と有効活用」の誓いを述べた。



来賓祝辞を述べる
仲井眞弘多沖縄県知事

来賓を代表して仲井眞弘多沖縄県知事は、「厳しい経済状況の中、頑張ってきた商工会会員を激励し、県の担当部課のみならず中小・小規模事業者の支援に全力で応えたい」と述べ、最後に旭日双光章を受章した「崎浜秀安」国頭村商工会会長、その他十九名の受



来賓として祝辞を述べる
山内徹・内閣府沖縄総合事務局
経済産業部長

賞者に祝意を表した。

次に山内徹内閣府沖縄総合事務局経済産業部長は、アジアにおける沖縄の位置づけを明確にし、これから市場の視点としてアジアが重要となり、アジアを含めた外国人の対応策を提起した。中小企業政策では、約二〇〇億円余になる二〇一〇年度の中小企業施策に触れ、地域資源、農商工連携施策の活用が肝要との見解を述べた。

その後、仲井眞弘多知事、高嶺善伸沖縄県議会議長など十一名の自治、経済団体代表者による鏡開きが行われ、賑やかに賀詞の交換が行われた。



県行政庁、沖縄総合事務局、経済各団体代表による鏡開き